

小児・AYA世代のがん対策事業について

1 趣旨

医療の進歩により長期生存が可能となった小児・AYA世代のがん患者に対し、ライフステージに応じた支援を行うもの。

2 事業内容

(1) 長期入院を要する高校生への学習支援体制の整備

- ・ 県立小児医療センターにおいて 県立高等学校の生徒に対し、非常勤講師が学習支援を実施。
- ・ けやき特別支援学校が、患者家族、小児医療センター等との連絡調整を行い、在籍校と連携し学習支援の計画を作成。
- ・ 平成 30 年度は希望があった 3 人全てに学習支援を実施。
この制度により進級や卒業ができ希望する大学へ進学できた生徒もいる。

(2) がん妊孕性温存治療に対する助成

- ・ がん治療前に精子や卵子などを凍結保存するがん妊孕性温存治療に対する助成を実施。
- ・ 医療従事者向けの研修会やセミナーを開催。

○ 助成制度の概要

① 対象

がん治療により生殖機能が低下又は失うおそれがあると診断された方
40 歳未満の方
前年度所得が 730 万円未満の方

② 助成上限額

| | |
|------------------------|-------|
| ・ 卵子、卵巣組織の採取凍結 | 25 万円 |
| ・ 卵子の採取、受精による胚（受精卵）の凍結 | |
| ・ 精子の採取凍結 | 5 万円 |
| ・ 手術を伴う精子の採取凍結 | 25 万円 |

○ 医療従事者向け研修会 年 3 回

がん治療に従事する医療従事者等を対象
がん診療連携拠点病院の協力により開催

○ 県民向けセミナー 年 1 回